

Song 4: “A Good Day to Die” 「死ぬには良い日だ」

1973年2月6日、私たち AIM（アメリカンインディアン運動体）は、ウエスリー・バッドハート・ブルの殺人に対する司法当局の扱いに抗議するために、サウスダコタのカスターに行きました。彼が白人に殺され、またこのような扱いは止めるべきだということを喚起するためでした。私は「今日は死ぬのに良い日だ」という演説をしました。先住民の殺害、差別、偏見、白人優越など、すべて止めなければならないという事を意に込めました。人種差別のために、偏見のために、先住民に向けられたこれら偏見に満ちた政策を止めるために、「死ぬのは良い日だ」ということです。それが、私が言及したことでした。「死ぬのに良い日だ」という名辞はオグララ族の偉大な戦士、クレイジー・ホースが最初に使いました。私の生い立ちと AIM についてのドキュメンタリー映画を作りましたが、カスターへ向かう前の私のスピーチ、それが「死ぬのに良い日だ」でした。